

「負担増で廃業も…」 「トラブルの原因は不要」

マイナンバーカードによるオンライン資格確認の原則義務化をめぐる、協会が9月に実施した導入義務化の撤回を求める署名に3000筆が集まった(9月30日時点)。署名の意見欄には、「廃業もありえる」「やるべきが強引で腹立たしい」など医療現場の深刻な声や政府・厚労省に対する怒りの声が多く寄せられている。意見欄に寄せられた声を紹介する。

署名の意見欄は、政府や厚労省に対する怒りの声であふれている。高石市開業の歯科医師は、政府らの強硬なオンライン資格確認システムの導入策に怒りを示しつつ、「診療報酬も低い上、これ以上の負担は耐えられない」と声を寄せた。東大阪市で開業する別の歯科医師は、コロナ禍の減収と物価高騰による材料料

料の値上げで現状でも大変だとし、「新

たな設備投資は非常に困難。これ以上の負担は廃業もありえる」と声を寄せる。高齢や設備環境、人手不足を理由とする「廃業」の記載が相次いだ。システム導入の義務化は、長年地域医療に尽くしてきた歯科医師や小規模の歯科診療所を廃業や閉院に追い込み、地域医療に支障を生じさせることになりかねない。2023年4月からのオンライン資格確認の原則義務化については、9月の中

療に支障を生じさせることになりかねない。2023年4月からのオンライン資格確認の原則義務化については、9月の中

署名に寄せられた声

- ・オンライン資格確認を運用するならば閉院します(交野)
- ・新型コロナウイルス感染拡大、医業収入の減少が続き、材料費、技工費の値上げ、新たな設備投資は非常に困難。現時点でレセコン電子カルテ等導入維持費も大変。これ以上の負担は廃業もありえる(東大阪)
- ・私たちが現場の声を受けとめ審議してほしいです。様々な危惧・問題のあるこの義務化はおかしいと思います(大正区)
- ・診療報酬も低い上に、これ以上の負担は耐えられない。やるべきが強引で腹立たしい(高石)
- ・非常に手間ひまが必要で、患者様でも高齢の方には、対応する人的余力も無い(堺)
- ・ランニングコストがかかるうえ、受付は狭いので設置場所に難しい(堺)
- ・負担とトラブルの原因はいりません(中央区)

75歳以上医療費窓口負担2倍化 小澤理事長が抗議談話を発表



75歳以上の医療費窓口負担2割化が1日から実施されたことを受け、小澤理事長(写真)は同日、抗議談話を発表した。全文は次の通り。

受診抑制に拍車 凍結に力尽くす

10月から75歳以上で一定の所得がある人の医療費窓口負担が1割から2割に引き上げられ、患者さんへの説明が求められるなど事務負担が増加します。複数の医療機関の外来や薬局を利用すれば、負担増が月3千円を超えても2割を支払いつづける「償還払い」と

370万人、約20%が負担増となり、大阪府では23万5238人が新たに2割負担の対象となっています。政府は「配慮措置」として窓口負担の増加分を

高年齢者の負担は医療費だけでありません。年金削減や長引くコロナ禍、物価高騰で生活に大打撃を受けているうえ、介護保険料も増加の一途です。窓口2倍化は、生活不安や生活困窮のため、75歳以上の患者さんの生活苦に追い打ちをかける、受診抑制と健康悪化を引き起こすことは明らかです。

高年齢者の負担は医療費だけでありません。年金削減や長引くコロナ禍、物価高騰で生活に大打撃を受けているうえ、介護保険料も増加の一途です。窓口2倍化は、生活不安や生活困窮のため、75歳以上の患者さんの生活苦に追い打ちをかける、受診抑制と健康悪化を引き起こすことは明らかです。

保団連は9月22日、オンライン資格確認原則義務化の問題で厚労省要請を実施し、義務化撤回を求めた。会員から寄せら

保団連 オンライン資格確認 原則義務化問題で要請 厚労省「即取消はない」「療担変更あり得る」

保団連は9月22日、オンライン資格確認原則義務化の問題で厚労省要請を実施し、義務化撤回を求めた。会員から寄せられた署名を提出するとともに、▽療養担当規則違反に伴う指定取消▽補助金の運用・申請期限のばらつきは是正など、9項目について厚労省の考えを質した。

物価高騰に緊急財政措置を 府・市内市区町村に要望

物価高騰が病院経営を圧迫していることを受け、協会は9月29日、大阪府と府内市区町村に対し、医療機関等への緊急財政措置を求める要望書を提出した。8月10日の同旨要請以来3回目の要請となる。

独自の申請期限を設けて歯科医療機関に契約締結を迫っている問題では、医師よりも期限が前倒しになっているなど、期限のばらつきを是正する措置を講ずるよう求めた。担当者は、問題の事実は承知しているとした上で、「しっかりと検討したい」と述べた。

締切り迫る！申し込みは10月25日まで

お問い合わせは共済部 (06-6568-7438) まで

2021年度配当実績 **1.317%**

2022年9月1日現在 予定利率 **1.140%**

加入資格 満74歳までの協会会員

加入期間	元金	元利合計
10年	12,000,000円	12,366,000円
15年	18,000,000円	19,051,000円
20年	24,000,000円	26,095,000円
25年	30,000,000円	33,516,000円

※1口につき運用事務費100円・委託手数料117円・適法特約保険料6円を差し引いた金額です

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467
共済部 06-6568-7438

戦争を題材にした作品には「特攻」や「玉砕」を美化するものが少なくないが、水木は二等兵として従軍した目線から兵隊が犬死させられた戦場の実態を伝えた。軍隊で左腕を失う過酷な体験をし、反戦漫画を描き続けたが、後世では決して「戦争反対」とは口にできなかった。ありきたりな言葉では語りつくせぬ思いがあったのだろう。

戦争を題材にした作品には「特攻」や「玉砕」を美化するものが少なくないが、水木は二等兵として従軍した目線から兵隊が犬死させられた戦場の実態を伝えた。軍隊で左腕を失う過酷な体験をし、反戦漫画を描き続けたが、後世では決して「戦争反対」とは口にできなかった。ありきたりな言葉では語りつくせぬ思いがあったのだろう。



漫画家・水木しげるの生誕100周年を記念した展覧会が人気という。妖怪漫画で有名だが、著書を振り返ると歴史叙述的漫画や自叙伝的漫画のほか、活字書籍も多数出版している。アジア・太平洋戦争で左腕を失った証言者としての姿も忘れてはならない。